

令和6年度地域課題解決共創事業「0ne+」 特定テーマ申請書

希 望 テ ー マ 名	こどもたちが主体のまちづくり活動の支援 ～もりおか版こどもファンドの実現に向けて～
テ ー マ 要 旨 (課題の概要)	令和5年12月に策定された国のこども大綱が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向け、「こどもの意見や行動が反映され、周囲や社会が変わっていく体験」を通じ、こどもが主体的に考え、行動することができるよう、社会全体で後押しすることが求められている。 今後、市でもそのような体験が得られる活動を活発化したいと考えており、具体的には、高知市や名取市の「こどもファンド」の事業を参考に、こどもたち（小学生から高校生までを想定）が提案するまちづくりのための活動について、その内容を別のこどもたちが審査し、その結果、採択された活動については、必要な費用の助成を受けながら実施してもらうという流れを構築したいと考えている。 来年度以降の本格実施に向け、審査や実際に活動を行う際のノウハウ、人員確保について、試行を通じて確立していきたいことから、岩手大学の知見や、大学生の発想力を活かし、より魅力的なものになるような創意工夫を加えた上で、企画立案及び事業実施をお願いしたいもの。 加えて、今年度策定する市の「こども計画」においても、こどもたちのまちづくり活動を含むこども・若者施策全般について定めることとしており、併せて大学生の目線からの計画に対する御意見もいただきたいと考えている。
期 待 す る 効 果	・「こどもの意見や行動が反映され、周囲や社会が変わっていく体験」の実現 ・学生に、こどもたちと一緒にまちづくりをしていくという経験を得てもらう ・本格実施に向けたノウハウの蓄積と人材の育成 ・先行事例を踏まえた上で、大学の知見や大学生の発想力を活かした「もりおか版」のこどもファンドが実現できる
担 当 所 属	子ども未来部子ども青少年課企画係
担 当 者 氏 名	土橋 和也・佐々木 悠介・渡辺 繭子・横澤 大河
連 絡 先 電 話 番 号	019-613-8356（ダイヤルイン）
E - m a i l	kodomo@city.morioka.iwate.jp
協 力 内 容	・企画立案にあたり、こどもファンドの事例や、来年度以降の本格実施に向けた考え方についての説明やアドバイスを行うことができる。 ・実際にこどもが活動する際の場所（児童センターなど）を確保することができる。 ・その他、こどもの活動内容に応じて、相手方に対して市から協力依頼等を行うことができる。
そ の 他	質問事項や相談等について自由にご記載ください。